

「教育実習体験レポート」

[私立中学校・高等学校 英語]

○実習期間

参観実習：5月8日 月曜日 ～ 5月13日 土曜日

教壇実習：5月27日 土曜日 ～ 6月9日 金曜日

○担当した学年と授業数

科目：英語コミュニケーション

学年：高校1年生（3クラス）

授業数：各8コマ（台風で休講があったため合計23コマ）

○参観授業

1日の流れは、5時間は参観実習、1時間は復習と実習簿を書く時間に分け、放課後は終礼とクラス清掃をしました。参観実習は、ほとんどすべての時間を英語科の授業参観に充てました。初めは他教科の授業も同じくらい参観する予定でしたが、同じ教科でも多様な教え方があったことに惹かれ、できるだけくさんの英語の授業を参観することにしました。英語以外で見た授業は数学と国語で、他教科の参観からは特に声、発問の意図、黒板の使い方などの教員が配慮すべき点を学ぶことができました。この1週間で、教壇実習に向けてどんな授業をしたいか、どの先生をモデルにするかを具体的にイメージすることができました。私が生徒として受けていた時とは違い、先生の立場から授業をみて、同じ科目でもそれぞれの目的が違っているのが見えて、それがとても面白いと感じました。参観実習後はすぐに、各授業の時間配分とアクティビティのメモや、先生方が使っていたクラスルームイングリッシュを手本に、自分のオリジナリティを考えながら授業準備に取り掛かりました。また、この期間に体育祭が開催されたことで、終礼とクラス清掃以外で生徒と話す機会ができ、授業者以外の教員の役割も経験することができました。運営の仕事が特に振り分けられなかったため、生徒の観戦席にいて一緒に応援をしていました。教育実習全体で生徒と話す機会を自ら作るのは難しかったので、この時にたくさん話すことができて良かったと感じています。

○教壇実習

月曜日：1限 3限 6限 HR

火曜日：1限 2限 5限 HR

水曜日：2限 4限 HR

木曜日：5限 HR

金曜日：1限 2限 5限 HR

土曜日：授業なし HR

Lesson3 “The Evolution of the Cellphone” 全4パート

教壇実習が始まるまでの空いていた2週間に、すべての授業案と授業スライドを作成しました。そのお

かげで、教壇実習中はスライドの訂正や、時間配分の確認に時間を取ることができたのは良かったと思います。はじめの 1 週間は自分の授業に自信が持てず、ただ前で話しているだけの授業をしてしまいました。模擬授業ではできていたはずの、生徒を見て授業を進めることも、授業の進度、メリハリもうまくいかず、思い描いていたような授業ができませんでした。特に指摘のあったことは声の大きさと指示、イントネーションでした。反対に褒めていただけた点は修正力です。2 週目に入るとだんだんと慣れてきて生徒の様子を見て授業を進めることができるようになってきました。しかし、生徒に合わせた進度に寄せすぎてしまい、予定していたアクティビティができなくなってしまうことがたくさん出てきてしまいました。2 週目の後半でやっとコツをつかむことができ、それが自分の自信にも授業のナチュラルさにもつながったと思います。1 つ 1 つの授業を見ると後悔することが多いですが、授業全体を見ればレッスンを通して一貫した授業ができていたのではないかと思います。それが実感できたのはやはりまとめの回でした。私がうれしく感じたのは、毎パートの復習としてマインドマップを使用し、それを最後の授業で使う活動をしたときに「あ、なるほど」と気付いてくれた生徒がいたことや、授業で暗記させた 1 文を最終回でも覚えていてそれがまとめに活用されていたことでした。授業内容を覚えてくれていたのではなく、毎回の授業が生徒の中でつながっていたことや生徒に成功体験をさせてあげられたことがとてもうれしかったです。

○感想

私は教員という職業を体験することを実習に行く目的として持っていました。終わった今では、実習校に電話をかけるかどうか迷いながらも教育実習に参加するという選択をして良かったと思っています。後悔はしていますが、それはもっと努力できたのではないかという実習に対してポジティブな後悔で、この 1 か月で新たな価値観に気づくことのできた実習になりました。私が学校で経験したことは教師の仕事のほんの一握りではありますが、それでも睡眠時間が無くなるほど大変な仕事でした。大学生活では自分の好きなことを追いかけてきましたが、実習で自分の好きなことを「好きにさせる」という体験をして、その難しさと楽しさの両方を実感することができました。教員にはならないだろうと決めつけていましたが、生徒の成功が自分のことのようにうれしかったことにやりがいを感じ、教員も視野に入れようと思いました。また、実習中にたくさん失敗をさせてもらえたこともありがたく貴重な経験です。今まで失敗する機会が少なかった私にとって、成功は本当に失敗があつたどり着くものだと思える経験ができました。失敗ができる環境はこれからも大切にしたいです。教育実習はただ教員の仕事を見るためだけではなく、人間的に成長のできる価値のあるものになりました。